

令和7年6月

学校運営委員会だより

和みの学び舎 世田谷区立奥沢小学校
学校運営委員会委員長 萩原 富夫
校長 前田 恵里

4月 学校運営委員会の報告

1 日時 令和7年4月17日(木)18:00~19:20

2 出席者 萩原、大田、若井、親谷、土肥、塩田、鈴木、魚地
前田校長、松田副校長

3 内容

(1) 委員長あいさつ(萩原 富夫委員長)

今年度、委員長を務めます。萩原です。新しく人も変わってきてますが、今年度も着実に様々なことをみなさんと一緒に進めていければと思います。よろしくお願いします。

(2) 令和7年度学校経営方針・教職員組織等(前田校長)

- 改めて、本当にこの運営委員会の皆様の温かい支援が本当に支えになった。何かを行う際も必ず応援してくださる、ご理解していただけるその心強さがありがたかった。そんな中3年目を迎えたこと、心から嬉しく思っています。本年度もよろしくお願ひしたい。
- 学校経営方針は、昨年度の学校評価の反省を受けて、4点挙げている。
- 重点目標は、奥沢小学校が以前から掲げている4つの目標のうちの『考える子ども』を重点としている。保護者アンケートでは「重点目標を理解している」については51%だった。今年度もしっかりと伝えていきたい。考えるというのは、学習だけではなく、生活面においても、キャリア教育でも必要。予測不可能な社会の到来の中で、自分で考え、自分で行動し、自分で未来を作っていく子どもたちを育てていきたい。
- チーム担任制を昨年度スタートしている。学校全体が落ち着いて、学ぶ体制が整ってきた。教員の前向きな取組の成果。今年度は特に生活指導の充実「奥沢スタンダード」の定着を目指す。
- 非認知能力の育成を進めていきたい。子どもたちが主体的に動く様子は見られてきている。どのような授業の展開をすれば、数値で表せない乗り越える力、主体的に動く力、自己管理能力などが伸びていくかという研究の1年目。区からの指定を受けている。まず、教員が基本を学んでいく1年目にしていく。研究の成果は、年度末に何らかの形でお伝えする。
- 主体的で対話的な深い学びによる学力の向上については、引き続き伸ばしていくなければならない。学習の仕方、学習に向かう姿勢について、非認知能力を伸ばすことによって、学力の向上を目指す。
- 令和の日本型教育について。個別最適な学びで、一人一人に合った学びをつくっていくこと。協働的な学びで、教師が教え込むのではなく、友達とのやり取りの中で子どもが学び、課題を解決していくことを一体的に行う。子どもが主役の、子どもたちが学校を創る、学校は自分たちで変えていける、そんな学校にしていきたい。

運営委員①:算数の少人数については、チーム担任制となったからか。

校長:習熟度別学習として都の施策で実施している。

運営委員②: 令和の日本型学校教育等に基づいた教育活動が難しい。具体的な進め方について説明がほしい。

校長:先に述べた個別最適な学びと協働的な学びの一体化により取組については、主体的、対話的で深い学びによる学力向上と捉えている。学習の仕方自体が、人と一緒に何かを成し遂げる。そんな学習のスタイルを取り入れる。それを支えるのがチーム担任制である。

運営委員③:先生方は同じ方向性に向かって取り組めているか。

校長:年度当初に丁寧に伝え、教員は理解して真摯に取り組んでいる。非認知能力の育成についてはアンケートで評価していく。

運営委員④:アンケート結果は、教員を標準化することにならないか。

校長:それぞれの教員の個性はもちろんあるが、チームのため、学級ごとの差が大きく出るというよりは、

学年ごとの差になる。

●学校組織について

主幹教諭を2名にする方向で考えている。主幹を中心に、主任教諭、教諭の育成を進めていく。校務分掌については、複数人で担い、引継ぎを丁寧に進めながら取り組んでいる。

(3) 学校運営委員会の今年度の日程について(松田副校長)

- 年間予定どおり。状況に合わせて日程や内容は変更する。5月、2月、3月は日程変更。
- 年1回どこかのタイミングで非認知能力などについて勉強会を実施する予定。

(4) 奥沢体験楽校について(松田副校長)

- 今年度も同じように、実施の予定。漢字検定はPTAと協力して実施する。
- 担当については、昨年度中に決めていただいている。

【ペットボトルロケット】

- PTA役員も役割分担として入ってくださっている。
- 1、2年生は保護者同伴で実施すると安全に実施できる。
- 雨天決行を前提に、服装もお知らせした方がよい。作ったら飛ばすところまでやりたい。

【親子クッキング】

- 家庭科室のものの使用は、原状復帰。拭き残しなどは要注意。準備や片付けは運営委員もしっかり協力する。洗剤や布巾、ごみ袋などは持ち込みをする。

【グラウンドゴルフ】

- 昨年度は文化祭など他の行事と重なってしまった。今年度は10月8日(水)に決定。
- グランドゴルフのセットをいくつか購入することはできないか。

【その他】

- アドベンチャーイン多摩川については、体験楽校ではなく、PTAが主体で動く。

【体験楽校の担当】

- ペットボトルロケット 大田委員と親谷委員、萩原委員長
- 親子クッキング 若井委員と土肥委員、萩原委員長
- グラウンドゴルフ 塩田委員と鈴木委員、萩原委員長 ●レッツダンス 小宮委員、萩原委員長

(5) その他

【学校運営委員会からの提言について】

- チーム制の実施について、人材確保について運営委員会として意見を出していくことができる。
- 来年度は5、6年が3クラスずつになるため、チームにする場合、5年と6年が別々のチームになる。区の配がつくことになれば、学校としては非常にありがたい。
- 1年生が3クラスになった場合、学級が足りない状況になる。新BOPの教室を使うことになる。新BOPの需要も非常に高く利用者が多いで難しい問題。

【学校支援コーディネートについて】

- ほっとルームの活用についてボランティアの募集を進めていきたい。無理のない範囲で、わかっている人から始めて進めていく。進めていく中でよりよいものにしていく。
- 取組の全容が決まったら、公募にかける形で進めていく。ただし、地域の方への声掛けについては範囲が難しいので、掲示板などが活用できないか検討していく。

(6) 終わりのあいさつ(萩原委員長)

今日は、ありがとうございました。これからも、こうしてみなさんからたくさんの意見をいただきながら、進めていきたいと思います。議題についてなど、意見があつたら、事前に送っていただけたら反映していきます。